

株主のみなさまへ

第101期 第2四半期報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに当社グループの第101期第2四半期（2019年4月1日～9月30日）における営業概況と通期の見通しについてご報告させていただきます。

株主のみなさまには、今後とも倍旧のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申しあげます。

2019年12月

代表取締役社長 片岡 和喜



当第2四半期の営業概況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、中国向け輸出低迷による製造業の生産活動が伸び悩み傾向にあり、全体の景況感は悪化しました。また、個人消費は雇用・所得環境の改善傾向が持続したことから、緩やかながらも拡大傾向が持続しました。世界経済は、米国では経済活動状況を表す指標が拡大から縮小する方向にあり、製造業は中国との貿易摩擦問題もあり、景況感が悪化しています。欧州では内需が底堅いものの、外需が減速しました。中国では工業生産の伸び率が低水準に落ち込み、設備投資の伸びも一段と鈍化するなど、米国との貿易摩擦の影響が顕著となっており、不透明な状況にあります。

このような状況のもと、取引業界別の電子・半導体業界では、メモリなど半導体生産が減少し、更に当社製品が使われる半導体製造装置の生産も減少したため、前年同期と比較し、関連工具の売上は減少しました。輸送機器業界では、自動車を除く輸送機器向け製品の売上が堅調に推移したものの、中国や欧州において自動車生産が低調であったことから海外向け関連製品の売上減少により同業界全体での売上は前年同期より減少しました。機械業界では、中国での自動車生産の減少や工作機械受注が国内外ともに大きく落ち込んだことにより、当該業界向け売上は減少しました。石材・建設業界では、需要低迷により石材関連工具の売上が減少し、石材・建設業界全体でも前年同期と比べて減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、185億3百万円（前年同期比11.4%減）となりました。利益

面におきましては、営業利益85百万円（前年同期比93.8%減）、経常利益1億99百万円（前年同期比88.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億37百万円（前年同期比72.8%減）となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき4円とさせていただきます。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、電子・半導体及び輸送機器、機械業界向け売上が減少し、期首予想額と比べて連結売上高が32億円の減額となる見込みであります。利益面におきましては、コスト削減等を図るものの、売上高減少を補いきれず、以下のとおり通期業績予想を修正することといたしました。

第101期の連結業績・配当予想

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

売上高	36,000百万円	(前期比 12.3%減)
営業利益	650百万円	(前期比 74.6%減)
経常利益	1,020百万円	(前期比 67.2%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	950百万円	(前期比 59.1%減)
年間配当金	1株当たり10円(中間配当4円含む)	

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor

半導体の生産減少により、半導体製造装置の生産も減少。前年同期と比較し、関連工具の売上は減少し、売上高は57億85百万円（前年同期比21.1%減）となりました。



売上構成比

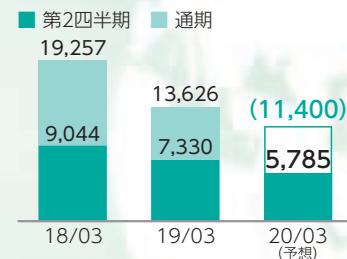
31.3%

売上高

5,785百万円



売上高（単位：百万円）



輸送機器業界

Transportation

中国、欧州の自動車生産が低調であったことから、関連工具の販売は前年同期と比べ減少し、売上高は46億93百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

売上構成比

25.3%

売上高

4,693百万円



売上高（単位：百万円）



機械業界

Machinery

中国での自動車生産減少や工作機械の受注が大きく落ち込んだことにより、関連工具の販売は前年同期と比べ減少し、売上高は46億75百万円（前年同期比12.0%減）となりました。



売上構成比

25.3%

売上高

4,675百万円



売上高（単位：百万円）



石材・建設業界

Stone and Construction

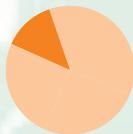
石材関連工具の需要低迷により、石材・建設業界全体でも前年同期と比べ減少し、売上高は23億88百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

売上構成比

12.9%

売上高

2,388百万円



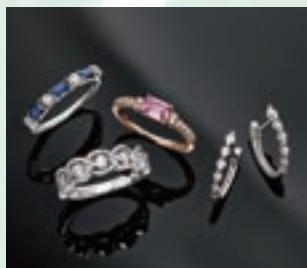
売上高（単位：百万円）



その他

Other

大学、研究機関、窯業および宝飾等上記以外の業種への売上高は9億60百万円（前年同期比26.6%増）となりました。



売上構成比

5.2%

売上高

960百万円



売上高（単位：百万円）



日本

(単位:百万円)

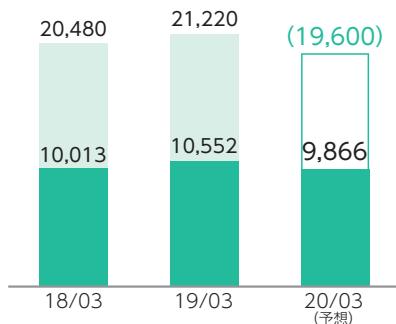
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

9,866 百万円

売上構成比

53.3%



台湾

(単位:百万円)

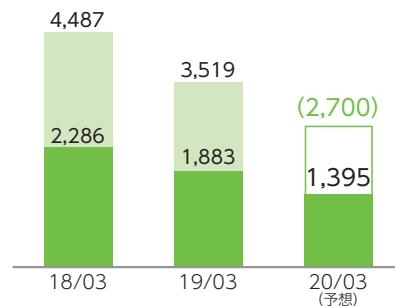
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

1,395 百万円

売上構成比

7.5%



中国

(単位:百万円)

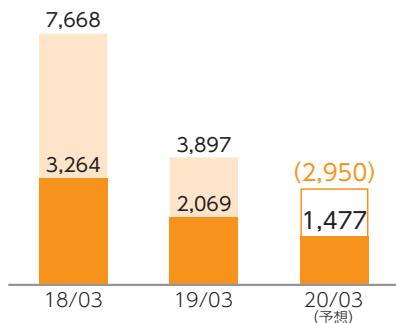
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

1,477 百万円

売上構成比

8.0%



その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

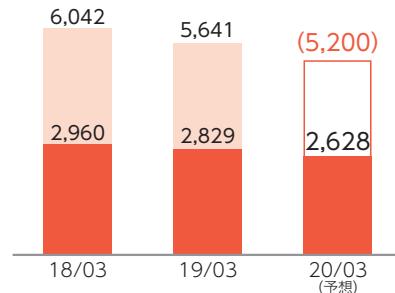
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

2,628 百万円

売上構成比

14.2%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

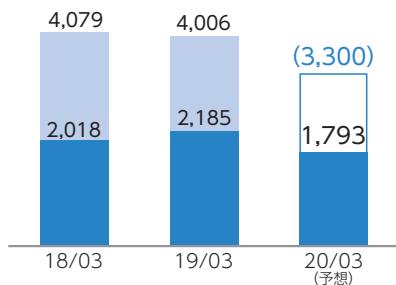
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

1,793 百万円

売上構成比

9.7%



その他

(単位:百万円)

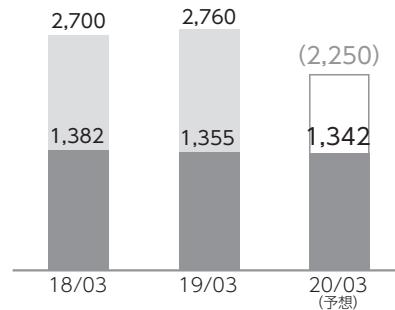
■ 第2四半期
■ 通期

売上高

1,342 百万円

売上構成比

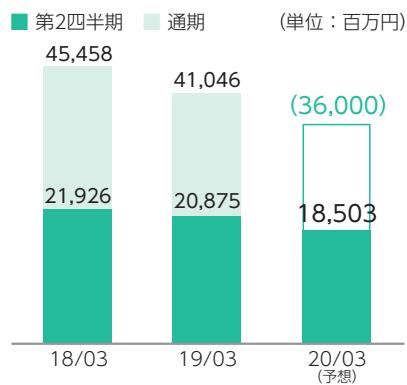
7.3%



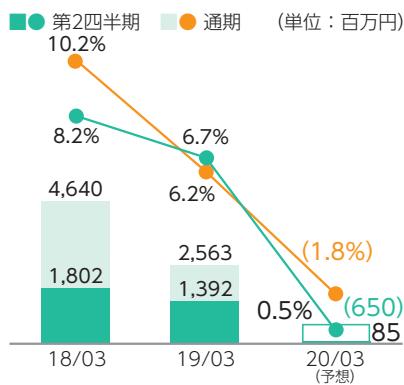
当第2四半期の
業績のポイント

売上高	18,503 百万円	(前年同期比 11.4% 減↓)
経常利益	199 百万円	(前年同期比 88.1% 減↓)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	337 百万円	(前年同期比 72.8% 減↓)
中間配当金	4 円	(前年同期比 2円 減↓)

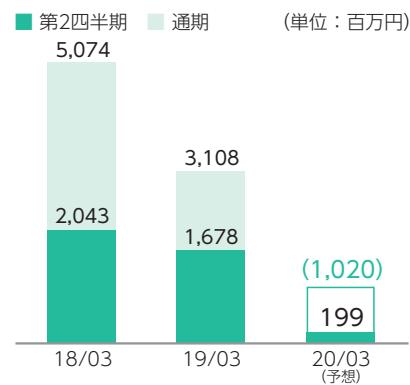
売上高



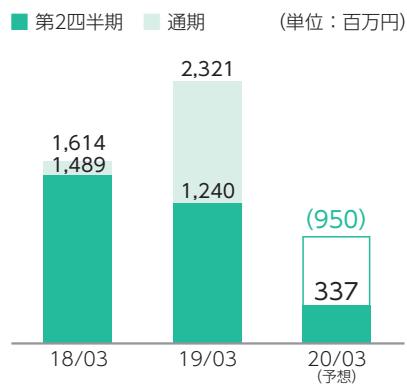
営業利益及び売上高営業利益率



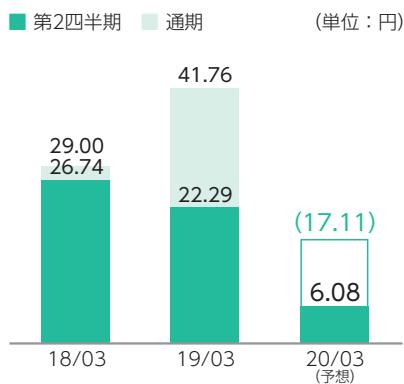
経常利益



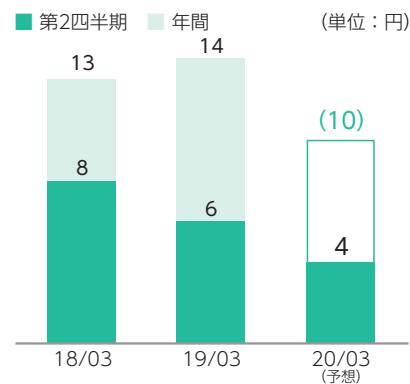
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金





千葉新工場完成予想図



千葉新工場起工式

千葉新工場起工式

当社は、2019年9月2日に千葉県袖ヶ浦市椎の森工業団地において、千葉新工場の起工式を執り行いました。千葉新工場には、玉川工場と千葉鶴舞工場からそれぞれ輸送機器業界および機械業界向け工具の製造移管を行います。なお、2020年7月に稼働開始を予定しております。

また、千葉鶴舞工場から玉川工場には、2020年度末までに電子・半導体業界向け工具と研究・開発部門を移管する予定です。

千葉新工場を中心として、国内製造拠点の再編を進め、市場ニーズを踏まえた生産体制を整備し、効率化を追求してまいります。

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間 2019.9.30	前連結会計年度 2019.3.31
資産の部		
流動資産	33,634	35,012
固定資産	37,562	38,035
有形固定資産	21,758	21,576
無形固定資産	190	143
投資その他の資産	15,613	16,315
資産合計	71,196	73,047
負債の部		
流動負債	4,686	5,515
固定負債	8,253	8,504
負債合計	12,940	14,019
純資産の部		
株主資本	55,341	55,443
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	44,259	44,367
自己株式	△ 149	△ 155
その他の包括利益累計額	1,685	2,299
その他有価証券評価差額金	2,320	2,505
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	△ 772	△ 319
退職給付に係る調整累計額	△ 22	△ 46
非支配株主持分	1,229	1,285
純資産合計	58,256	59,028
負債純資産合計	71,196	73,047

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計) 2019.4.1 から 2019.9.30まで	前第2四半期(累計) 2018.4.1 から 2018.9.30まで
売上高	18,503	20,875
売上原価	14,253	15,411
売上総利益	4,249	5,463
販売費及び一般管理費	4,164	4,070
営業利益	85	1,392
営業外収益	189	291
営業外費用	75	6
経常利益	199	1,678
特別利益	308	19
税金等調整前四半期純利益	507	1,697
法人税等	153	385
四半期純利益	353	1,312
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	1,240

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当第2四半期(累計) 2019.4.1 から 2019.9.30まで	前第2四半期(累計) 2018.4.1 から 2018.9.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,752	2,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,211	△ 1,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 527	△ 580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 63	△ 218
現金及び現金同等物の増減額	950	639
現金及び現金同等物の期首残高	16,548	18,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,499	19,108

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <https://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR 

株式の状況

発行可能株式総数 190,300,000株
 発行済株式の総数 55,700,000株
 株主数 13,919名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,361	7.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,503	4.50
旭ダイヤモンド社員持株会	1,561	2.80
株式会社三菱UFJ銀行	1,384	2.49
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,091	1.96
旭ダイヤ共栄持株会	1,084	1.95
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,056	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	1,040	1.87

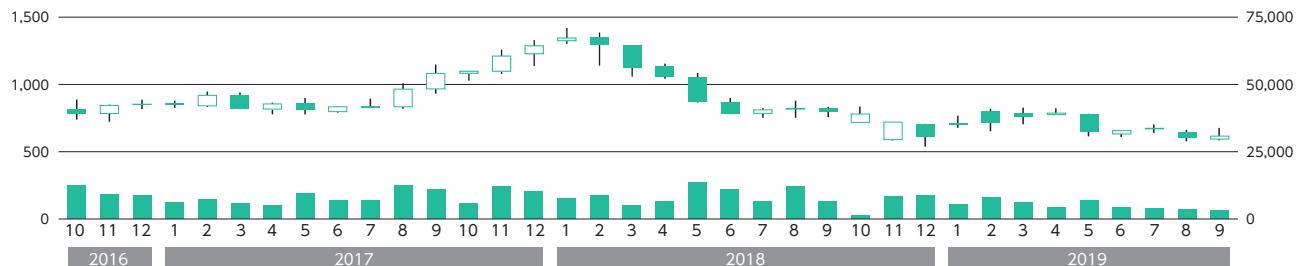
(注)1. 持株比率の計算は、自己株式7,229株を除いて計算しております。

(注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

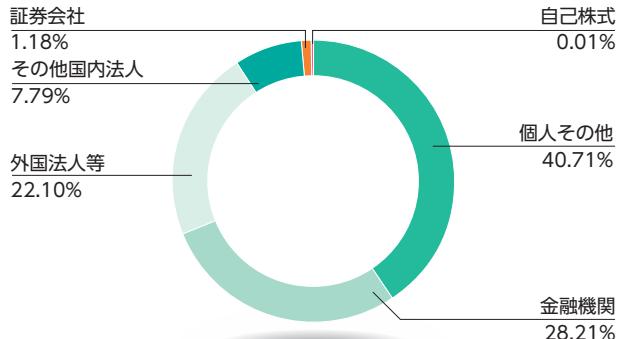
株価・出来高推移

(単位：円)
2,000

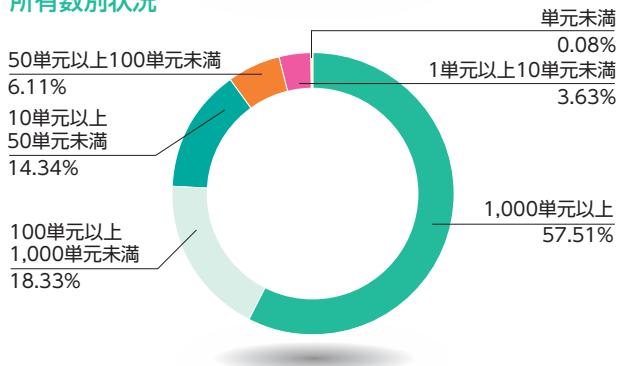
(単位：千株)
100,000



所有者別状況



所有数別状況



会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号
 設立年月日 1937年10月9日
 資本金 4,102,188,450円
 従業員数 1,055名 (連結 2,200名)

役員

取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	藍敏雄
取締役	谷口和昭
取締役	萩原利昌
取締役	阿部英夫
取締役	原智彦
社外取締役	小山修
社外取締役	永田新一

監査役

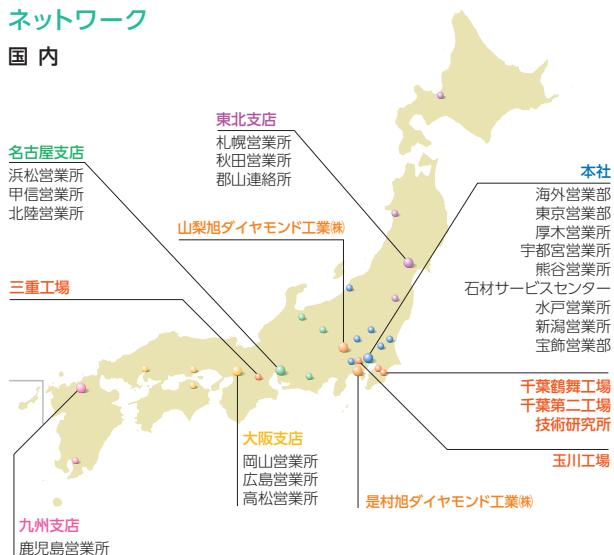
常勤監査役	香山盛夫
社外監査役	大高由紀夫
社外監査役	川嶋誠人

執行役員

常務執行役員	大河内孝夫
常務執行役員	滝口明
執行役員	井元修三
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	小浦雅美
執行役員	佐藤公一
執行役員	澤田穰
執行役員	日下部均

ネットワーク

国内



海外



お知らせ

第101期中間配当金につきましては、「配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。
また、配当金の口座振込をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しておりますのでご確認ください。

■ 中間配当金のお支払いについて

中間配当金 1株につき4円

取扱期間 2019年12月2日(月)から
2020年 1月6日(月)まで

株主メモ

決算と配当金のお支払

毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。

定時株主総会

毎年6月下旬に開催いたします。

定時株主総会の基準日

毎年3月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先)

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数

100株

公告方法

電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.asahidia.co.jp/) 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

